

移住促進に向けた農山漁村魅力発信セミナー

半農半Xとは～農ある暮らし、具体的な「X」のを見つけ方～

半農半Xとは「持続可能な農ある小さな暮らしをベースに、天与の才を世に活かす生き方」。半農半Xという言葉の生みの親、塩見直紀さんはそう定義づけています。農の時間は1日の労働時間のうち半分でなくてもよい。朝だけ、夕方だけでも構わない。Xは天職、大好きなことなど、フルタイムでもボランティアでもよい。半農半Xとはその人それぞれの生き方、暮らし方に合わせ自由に人生設計することが出来ます。

今回のセミナーでは、先駆者や実践者のお話から半農半Xの具体的なイメージをつかんでいただき、半農半Xな暮らしが実現できるよう支援するプログラム構成となっています。

心が豊かな今後の生き方・暮らし方・働き方について考えるひとつのきっかけとなれば幸いです。

ご参加を心よりお待ちしております。

【日時】 令和4年12月19日(月) 13:00～16:00

【場所】 三重県勤労者福祉会館5階第2教室(津市栄町1丁目 891)

【内容】

1. 開催のあいさつ 三重県 農林水産部農山漁村づくり課	
2. 事例・状況報告 (1)基調講演 「半農半Xのすすめ～魅力、可能性と地域資源×自分資源の組み合わせ方」 半農半X研究所 代表 塩見 直紀 氏 (2)半農半X実践者による実践例、活動紹介 実践者 アタシカデイズ代表 近藤 久史 氏 実践者 株式会社地域資源バンクNIU代表取締役 西井 勢津子 氏 (3)意見交換会 登壇者とのクロストーク。自己紹介の後、聞きたいこと知りたいことを自由に意見交換します。	13:00～16:00

【対象者】 移住に関心のある方、移住希望者を受け入れたい地域の方、市町担当者

【参加費】 無料

【参加方法】 参加方法は下記の2通りです。申込時にご希望の参加方法を記載してください。

参加方法1 会場での参加

- ・講習会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた三重県指針に基づき、適切な感染防止対策を行ったうえで実施します。
- ・発熱や咳などの症状がみられる方は、参加の自粛をお願いいたします。
- ・当日の体調確認、マスクの着用、消毒にご協力ください。

参加方法2 オンラインによる参加

- ・オンライン参加の場合、ウェブ会議ツール(ZOOM)を使ったオンライン形式で配信を行います。
- ・事前に、各参加者のメールアドレス宛てに「招待URL」または「ミーティングIDとパスワード」をご案内します。

【講師のご紹介】



半農半X研究所代表 垣見 直紀 氏

1965年、京都府綾部市生まれ。フェリスモを経て、2000年、半農半X研究所を設立。「半農半X(=天職)」を四半世紀前から提唱。1人1研究所社会、天職観光、Local AtoZなどのコンセプトも提唱。めざすところは「ことばで世界をデザイン」。著書共著に『半農半Xという生き方【決定版】』『半農半X～これまで・これから』など。半農半X本は台湾、中国、韓国、ベトナムでも発売されている。



アタシカデイズ代表 近藤 久史

三重県生まれ。趣味はサーフィン。20代の海外生活・東京での仕事を経て、2016年に地域おこし協力隊として熊野市に移住。海と山に囲まれた小さな町の資源を活用しそこから生まれる「モノ」と「コト」を提供中。柑橘果樹園・1組限定海辺の宿・週末カフェ・アウトドアガイドなどを実施。将来的には3つの小商いを持続させるのが夢。



株式会社地域資源バンクNIU代表取締役 西井勢津子

結婚後名古屋で暮らすも都市の生活に脆弱さを感じ、2010年多気町へ移住を決意、空き家を借りて起業した。農山村の仕事おこし、地域資源活用をミッションに、2012年に直売所に日替わりシェフの店「サラダボール」をプロデュース、2013年に荒廃した里山にマウンテンバイクのコースをプロデュースするなど、新しいファン層や顧客を田舎にマッチングしている。2021年、多気町に大型商業施設VISON(ヴィソン)開業を契機に、多気町内の事業者仲間をパートナーに新会社を設立、ヴィソン内に「モビリティレンタル発着のカフェraf」をオープンした。

【申込み方法】

三重県電子申請・届出システム(右のQRコード参照)を使用してお申込みいただくか、下記に必要事項を記入の上、FAX、E-Mail、郵送でお申込ください。お電話でも受け付けております。

三重県電子申請・届出システム:

<https://logoform.jp/form/8vMX/176514>



申込期限:令和4年12月7日(水)17時まで (FAX:059-224-3153)

参加方法	お名前	メールアドレス	居住地 (市町)	興味のある 市町	興味のあるX	年齢
(例) 会場	(例) 三重 花子	(例) ○ @ . . jp	(例) 津市	(例) 熊野市	(例) 古民家カフェ	(例) 40代

意見交換の際に、「聞きたいこと、知りたいこと」など自由にご記入ください。

【お申込み・お問合せ先】

〒514-8570 三重県津市広明町13番地
三重県農林水産部 農山漁村づくり課
農山漁村活性化班 担当:磯田、長井
TEL:059-224-2518、FAX:059-224-3153
E-mail:nozukuri@pref.mie.lg.jp